

清流

6年生ありがとう…そして、おめでとう

いよいよ平成29年度も終わろうとしています。先日行われました年度末のPTA総会でもお話ししましたように、この一年間、様々なPTA活動等により、学校の教育活動に多大なるご協力、ご支援を頂きましたこと心から御礼を申し上げます。加えて、今年度は「おやじの会」の立ち上げにより、より多くの面でご支援をいただけるようになりましたことにも心から感謝いたしております。

今日は雨が降っていますが、ここ数日、急に暖かい日が続いています。桜の開花も宣言されました。暖かくなるのは嬉しいことですし、春が近づくと明るい気分にもなりますが、同時に、どこかで寂しさを感じる時期でもあります。それは、卒業で、子どもたちとの別れがあるからです。

それぞれの個性が光る素敵な大人に成長した皆さんに、また会える日を楽しみにしています。

皆さん二十四人の前には、大きな可能性が無限に広がっています。しかし、それだけに、大きな困難や悲しいこと、くやしきことにも出会ってしょう。そんな時、この言葉を思い出して踏ん張ってくれたらと思います。

失敗の経験は、その後成功するためのプロセスなのです。視点を前向きに変えれば、新しい道が開けてくることあります。

無限の可能性をもつ卒業生へ 福田 雅也

私は実験において 失敗など 一度たりともしていない 「これでは電球は光らない」という発見を 今までに 二万回してきたのだ

トーマス・エジソン

上の言葉は、誰もが知っているエジソンが言った言葉の一つです。エジソンは、電球を発明するために二万回も実験を繰り返し、失敗を重ねてきたのです。この言葉から二つのことが学べますね。一つは、失敗を重ねてもあきらめずに頑張れば成功につながるということ。もう一つは、物を事を前向きに考えることが大切だということ。

今日は、6年生の修了式でした。式では、トーマス・エジソンの言葉を引用し、上のような話をしました。この文章は、話の内容をまとめたものです。明日に卒業式を控えた6年生は、きりりと引き締まった表情で、真剣に私の話を聞いてくれました。これから、希望の未来が待っている子どもたちに、あまり説教じみたことは言いたくなかったのですが、甲佐町の未来を担っている大切な存在です。このような言葉を贈ることにしました。

これまで、甲佐小学校の顔として、学校を引っ張ってくれた24名の6年生。素晴らしい頑張りや、ほめてあげたいことはたくさんあります。それらは、明日の式辞の中で話をしようと思っています。この紙面では、最後にお礼とお祝いの言葉で終わりたいと思います。

「24名の6年生、ありがとう…そして、おめでとう」

